

水 道 【 使 用 料 】					
口径	使用料金		メーター 使用料	超過 料金 1m <sup>3</sup> につき	1月あたり 基本料金 (超過含まず)
	基本水量	基本料金			
13ミリ	10m <sup>3</sup>	2,205円	210円	273円	2,415円
20ミリ	20m <sup>3</sup>	4,410円	420円		4,830円
25ミリ	30m <sup>3</sup>	6,615円	630円		7,245円
30ミリ	40m <sup>3</sup>	9,135円	840円		9,975円
40ミリ以上	60m <sup>3</sup>	12,915円	1,050円		13,965円
プール	—	—	7,875円		7,875円
共用栓	10m <sup>3</sup>	2,205円	—		2,205円
施設消火栓 演習用	1栓5分毎	3,150円	—		使用実績

水 道 【 分 岐 料 】		
口径	料金	
13ミリまで	36,750円	
25ミリまで	52,500円	
40ミリまで	157,500円	
40ミリ以上	262,500円	

1箇所あたり

水 道【審 査】 及び 検 査【手数料】	
1,260円 × 2 = 2,520円 <1件あたり>	

下 水 道 【 使 用 料 】			
使用料金		超過料金(1m <sup>3</sup> あたり)	水道以外使用者
基本水量	基本料金		
10m <sup>3</sup>	1,890円	115円	人数 × 2m <sup>3</sup>

下水道 【新設 手数料】 <1件あたり>

100,000円(ただし2・4・5年まで分割可 最低10,000円) 1月・7月請求

下水道【審査】 及び 検 査【手数料】	
1,200円 × 2 = 2,400円 <1件あたり>	

◎ 上記の金額に「消費税」は、含まれております。

## 戸沢村簡易水道事業組織体制表

役職	職種	年齢	氏名	一般業務	災害時等緊急体制業務
課長	一般行政	58	八 鍬 晃	水道計画全般、水道用地取得登記、財産台帳、水道未普及地域解消事業、公金取納対策委員会、水道係文書收受業務等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害等対応総括</li> <li>・マスコミ対応</li> <li>・災害時相互応援協定に基づき代表都市(新庄市)へ連絡</li> </ul>
課長補佐	一般行政	55	横田 和夫	消費税申告業務、新規拡張事業計画、水道借地の占用、移設改良工事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災場所、被災範囲、災害状況等の収集把握</li> <li>・緊急情報の提供及び指導</li> <li>・関係機関への連絡</li> <li>・普及作業員への指揮監督</li> </ul>
主査	一般行政	47	高橋 幸喜	水道会計予算・起債および執行、メーター器の管理・検針、水道施設故障修理、水道統計調査等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害復旧資材の調達</li> <li>・配水調整作業</li> <li>・洗管作業</li> </ul>
主任	一般行政 水道技術管理者	35	高橋 一典	水道施設巡視点検、水質検査、指定給水工事業者、水道料金関係、決算統計、水道資材保管管理等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害復旧資材の調達</li> <li>・配水調整作業</li> <li>・洗管作業</li> </ul>
	臨時筆耕	34	田中 優	水道料金関係	

### 別紙3 戸沢村将来給水人口

戸沢村将来人口(国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」)

年	2015	2020	2025	2030	2035	2040
戸沢村人口	4,793	4,347	3,927	3,534	3,167	2,811

実際の2015年度末の人口は5,021人であったため、 $5,021人/4,793人=1.047569372$ で、社人研の予想人口を1.047569372で補正する。

戸沢村将来人口(補正後)

年	2015	2020	2025	2030	2035	2040
戸沢村人口	5,021	4,554	4,114	3,702	3,318	2,945

上記の5年ごとの人口から、近似式によって年度ごとの人口を予測する。

西暦	平成	人口	西暦	平成	人口	西暦	平成	人口
2015	27.3.31	5,021	2024	36.3.31	4,201	2033	45.3.31	3,471
2016	28.3.31	4,928	2025	37.3.31	4,114	2034	46.3.31	3,394
2017	29.3.31	4,834	2026	38.3.31	4,031	2035	47.3.31	3,318
2018	30.3.31	4,741	2027	39.3.31	3,949	2036	48.3.31	3,243
2019	31.3.31	4,648	2028	40.3.31	3,867	2037	49.3.31	3,168
2020	32.3.31	4,554	2029	41.3.31	3,784	2038	50.3.31	3,094
2021	33.3.31	4,465	2030	42.3.31	3,702	2039	51.3.31	3,019
2022	34.3.31	4,377	2031	43.3.31	3,624	2040	52.3.31	2,945
2023	35.3.31	4,289	2032	44.3.31	3,547			

平成28年3月31日の実際の人口は4,857人であるため、マイナス補正したうえで、戸沢村の水道普及率99.35(平成28年3月31日現在)で給水人口を計算する。

### 戸沢村将来給水人口

西暦	平成	人口	西暦	平成	人口	西暦	平成	人口
2015	27.3.31	5,021	2024	36.3.31	4,081	2033	45.3.31	3,399
2016	28.3.31	4,825	2025	37.3.31	3,996	2034	46.3.31	3,323
2017	29.3.31	4,733	2026	38.3.31	3,916	2035	47.3.31	3,249
2018	30.3.31	4,642	2027	39.3.31	3,836	2036	48.3.31	3,176
2019	31.3.31	4,551	2028	40.3.31	3,756	2037	49.3.31	3,102
2020	32.3.31	4,459	2029	41.3.31	3,676	2038	50.3.31	3,030
2021	33.3.31	4,372	2030	42.3.31	3,596	2039	51.3.31	2,956
2022	34.3.31	4,286	2031	43.3.31	3,520	2040	52.3.31	2,884
2023	35.3.31	4,200	2032	44.3.31	3,446			

別紙4 水需要の予測

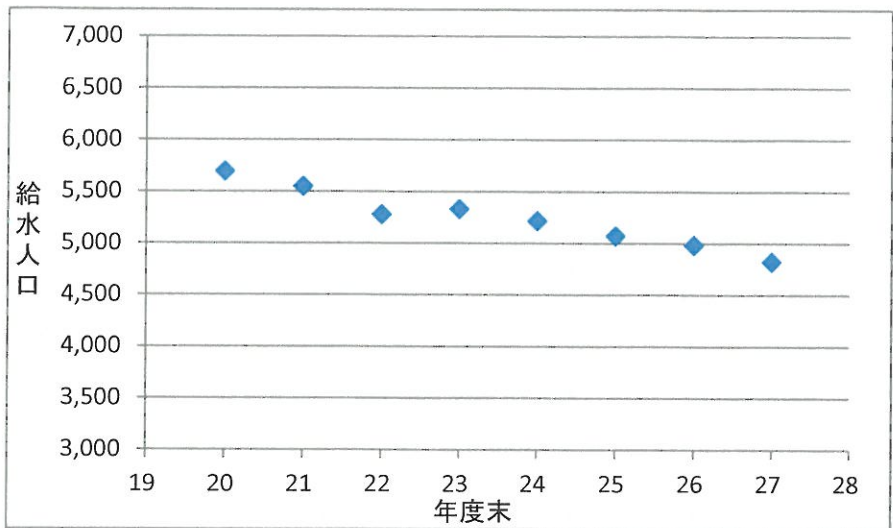


図1 年度末における給水人口の変推移

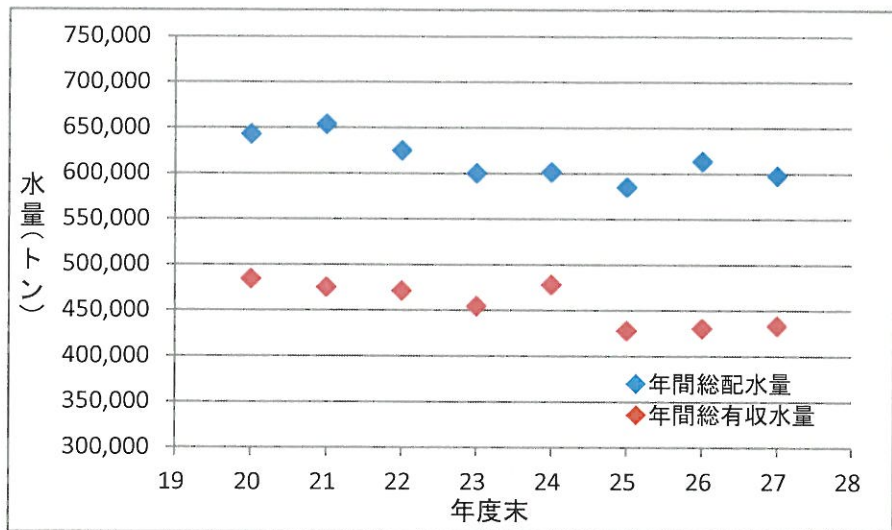


図2 年度末における年間総配水量および年間有収水量の推移

平成20年度末から平成27年度末までの給水人口の変動を図1に示す。平成27年度末までに直線的に右肩下がりとなっている。

図2に年度末における年間配水量および年間有収水量の変動を示す。減少傾向にあることは、図1と同様ではあるものの、平成25年度末以降は年間配水量、年間総有収水量ともにやや上昇に転じていることがわかる。

有収水量が平成24年度末から平成25年度末にかけて大きく減少している要因の一つに小学校の統廃合が上げられる。

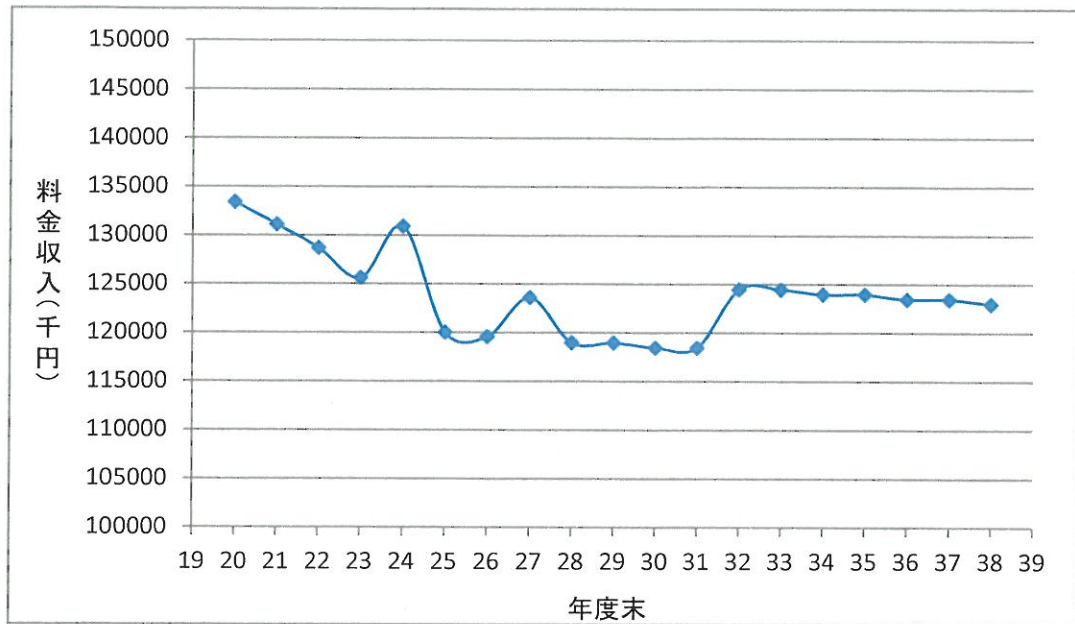


図1 料金収入の推移と予測

平成20年度末から平成27年度末までの給水人口の推移と平成38年度末までの予測を図1に示す。

各年度間における料金収入の増減理由を下記に考察した。

平成20年度末～平成23年度末: 10,000千円程度の減少、人口の減少による。

平成23年度末～平成24年度末: 500千円程度の増加、猛暑による水需要の増加。

平成24年度末～平成25年度末: 10,000千円程度の減少、小学校4校が1校に、中学校2校が1校に統合したことによって大幅に水需要が低下した。

平成26年度末～平成27年度末: 500千円程度の増加、観光地における水需要の増加、村内の開発事業に伴う仮設事務所の増加等による。

平成28年度末～平成31年度末: 今後4年間の料金収入の推移を平成25年度末、平成26年度末の料金収入をもとに予測した。

平成31年度末～平成32年度末: 草薙飲料水供給施設の更新事業終了後、5%の値上げを検討する。

平成33年度末～平成38年度末: 給水人口減少に伴いゆっくと料金収入は減少すると思われる。